

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公開番号】特開 2005-252970 (P2005-252970A)  
【公開日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)  
【年通号数】公開・登録公報 2005-036  
【出願番号】特願 2004-64018 (P2004-64018)  
【国際特許分類】

**H 0 4 N 5/44 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N 5/44 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

番組情報を外部から取得する番組情報取得手段と、  
現在時刻を取得する現在時刻取得手段と、  
前記番組情報取得手段によって取得された番組情報を記憶する番組情報記憶手段と、  
前記現在時刻取得手段によって取得された現在時刻に基づいて、前記番組情報記憶手段に記憶されている番組情報の中から報知対象を決定する報知内容決定手段と、  
前記報知内容決定手段によって報知対象とされた番組情報の所定項目を報知する報知手段と、  
を備えることを特徴とする番組情報提供装置。

【請求項 2】

前記報知手段は、前記番組情報の所定項目を時計の文字盤上にマッピングして表示することを特徴とする請求項 1 に記載の番組情報提供装置。

【請求項 3】

前記番組情報取得手段は、前記現在時刻取得手段によって取得された現在時刻が所定の時刻である場合に番組情報を外部から取得する請求項 1 または請求項 2 に記載の番組情報提供装置。

【請求項 4】

前記報知内容決定手段は、前記現在時刻取得手段によって取得された現在時刻から一定時間以内に放送される番組の番組情報及び / 又は前記現在時刻取得手段によって取得された現在時刻以後に放送される一定数の番組の番組情報を報知対象とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の番組情報提供装置。

【請求項 5】

ユーザの興味や嗜好等に関する情報を記憶するユーザプロフィール記憶手段を備え、  
前記番組情報取得手段は、前記ユーザプロフィール記憶手段によって記憶されている情報に基づいて、番組情報を外部から取得する請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の番組情報提供装置。

【請求項 6】

ユーザの興味や嗜好等に関する情報を記憶するユーザプロフィール記憶手段を備え、  
前記報知内容決定手段は、前記現在時刻取得手段によって取得された現在時刻と前記ユ

ーザプロフィール記憶手段によって記憶されている情報とに基づいて、前記番組情報記憶手段に記憶されている番組情報の中から報知対象を決定する請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の番組情報提供装置。

【請求項 7】

番組の放送内容を受信する放送受信手段を備え、

前記報知内容決定手段は、報知対象として決定した番組情報の番組が前記現在時刻取得手段によって取得された現在時刻において放送されている番組であれば、その番組の放送内容を前記放送受信手段に受信させ、その受信した放送内容を前記報知手段に表示させる請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の番組情報提供装置。

【請求項 8】

外部の機器の状況等に関する情報である機器情報を前記外部の機器から取得する機器情報取得手段と、前記機器情報取得手段によって取得された機器情報を記憶する機器情報記憶手段と、を備え、

前記報知内容決定手段は、前記現在時刻取得手段によって取得された現在時刻に基づいて、前記番組情報記憶手段に記憶されている番組情報と前記機器情報記憶手段に記憶されている機器情報の中から報知対象を決定し、

前記報知手段は、前記報知内容決定手段によって報知対象とされた番組情報の所定項目と前記報知内容決定手段によって報知対象とされた機器情報の所定項目とを報知する請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の番組情報提供装置。

【請求項 9】

前記報知内容決定手段によって決定された報知対象の中から少なくとも一つの情報を選択する情報選択手段と、前記情報選択手段によって選択された情報に関連する動作のリストを抽出する関連動作抽出手段と、を備え、

前記報知手段は、前記関連動作抽出手段によって抽出されたリストを報知する請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の番組情報提供装置。

【請求項 10】

関連動作実行手段を備え、

前記情報選択手段は、前記関連動作抽出手段によって抽出されたリストに含まれる動作の中から一つの動作を選択し、

前記関連動作実行手段は、前記情報選択手段によって選択された動作を自ら実行する並びに / 又は前記報知手段及び / 若しくは前記外部の機器に実行させる請求項 9 に記載の番組情報提供装置。

【請求項 11】

前記報知内容決定手段によって報知対象とされた番組情報の詳細を順次切り替えて前記報知手段に報知させる自動情報報知手段を備える請求項 1 ～ 10 のいずれかに記載の番組情報提供装置。

【請求項 12】

番組情報を提供するためにコンピュータを、

番組情報を外部から取得する番組情報取得手段、

現在時刻を取得する現在時刻取得手段、

前記番組情報取得手段によって取得された番組情報を記憶する番組情報記憶手段、

前記現在時刻取得手段によって取得された現在時刻に基づいて、前記番組情報記憶手段に記憶されている番組情報の中から報知対象を決定する報知内容決定手段、及び

前記報知内容決定手段によって報知対象とされた番組情報の所定項目を報知する報知手段、

として機能させるための番組情報提供プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 1 1 】

上記構成の番組情報提供装置を利用するユーザは、現在時刻に基づいて報知される番組情報を得ることができるので、ユーザが番組情報を確認したときにはその確認した情報に含まれる番組がすでに放送された後で全く役に立たない等の問題が解消される。また、報知の方法としては、一般に表示を採用するとよいが、報知内容の一部又は全部を表示以外の報知方法（例えば、音声報知など）によって報知してもよい。また、前記報知手段が、前記番組情報の所定項目を時計の文字盤上にマッピングして表示するようにしてもよい。